

一步一步煩惱減除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

九段 支え合い助け合い

八段 短所を自覚すれば長所が変わる

七段 自分にだけ都合の良い行動をするな

『高尾山健康登山の証』のお勧め
年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられております。期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換できます。



帳面……七百円
スタンプ……百円

高尾山 季節散歩

暦の言葉

「二十四節気」

立秋「りっしゅう」

立秋は八月七日頃に当たります。日中は厳しい暑さが残る時期ですが、暦の上では秋となります。空を見上げると、夕立を呼ぶ入道雲の他にも、次第に秋空を象徴する鱗雲や鱗雲が漂うようになります。

今月の行事

盆踊り

盆踊りは元々、お盆を迎えた先祖の霊を供養し、彼岸へと送る習わしで、空也上人や、一遍上人が広めた念仏踊りを起源に持つとされております。

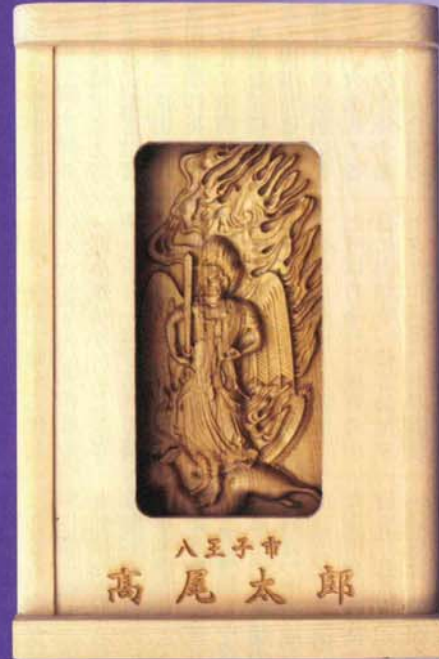
今では八月十五日頃に全国各地に様々な形式で行われており、特に徳島県の阿波踊りなどが知られております。

御本尊・飯縄大権現様との御縁を深める 大本堂内結縁「内陣御納佛」奉安のご案内

高尾山では、御信徒様と高尾山御本尊・飯縄大権現様との益々の御縁が結ばれますように、大本堂内陣に御本尊様の御魂を宿した「内陣御納佛」の奉安を皆様にお勧め申し上げます。

お申し込みになりますと、御納佛との尊い結縁のしるしとして御芳名を刻み、大本堂内陣壁面に奉安され、幾久しく御繁栄を祈念するものであります。

また、御納佛が壁面に満たされますと、その都度、内陣格子奥に移し大切に安置されるものであります。



高さ13.5センチ 横幅9センチ

高尾山

四季の草花

オミナエシ 女郎花



秋の七草の一つで、古来より親しまれている花です。いつの頃から「女郎花」の漢字が宛てられたのかは不明ですが、「古今和歌集」に「女郎花」と書いて「おみなへし」と読ませていたとあります。

語源は諸説ありますが、「おみな」とは「女」の意で、「えし」は古語で「圧し」の意で、美女を压倒する花だとして、「おみなへし」の言葉が転訛して「オミナエシ」の言葉になっています。

又、「おこわ」を男飯と呼んだのに対し、黄色い「栗飯」を女飯と呼び、花の様子が「栗飯」に似ていたことから言葉が出来たとの説もあります。「オミナエシ」に対して「オトコエシ」と呼ばれる白花があります。

日当たりの良い山野の草地に生え、花は茎の先に多数の黄色い花を散房状に付けます。

葉は対生し、羽状に深く切れ込んでいます。

(撮影・文 中村 毅人)

健康登山者投稿作品 「高尾登山の不思議な思い出

健康登山者投稿作品

世田谷区 中馬 瑞子

日本百観音霊場、関東三十六不動尊霊場、北関東三十六不動尊霊場、四国八十八カ所霊場をそれぞれ巡礼し、満願成就致しました。そして、健康登山を始めようになり、稲荷山コースより頂上へ向い、薬王院の奥之院へ到着する。これからの健康登山を宜しくお願致しますと心の中で祈り、琵琶滝方面へと下山を始めました。

稲荷山コースより頂上へ向い、薬王院の奥之院へ到着する。これからの健康登山を宜しくお願致しますと心の中で祈り、琵琶滝方面へと下山を始めました。

道中はとても気持ちが悪く、ウキウキと嬉しくて心が弾み、このまま調子に乗っているように気が付いて、自分から気を付けようと言った。開かせ、「懺悔 懺悔 六根清浄」と唱えながら下り始めた所、勢いよく飛ぶように転んでしまいました。

その時不思議なことに、誰かに抱かれたように

「フアー」と空を飛び、思いきり地面にたたきつけられていました。

そのあまりの勢いに周りにいた方々が驚いていましたが、少しの間、立ち上がれなかった位で、その後は何事もなかったように下山できました。

まるで天狗様に助けられ、また戒められたかのように思いました。その後、病院へ行きましたが、大丈夫でした。

それ以来同じコースをいつも登山させて頂いております。感謝の気持ち一杯です。

こうして古希を越えることが出来ました。これからも健康登山を続けていきます。

